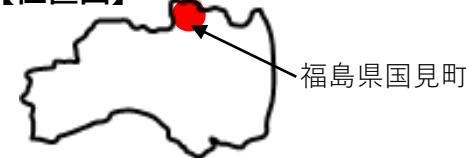


国見町の農業を維持するために町内外からの新規就農者の確保

- 福島県中通り地方北部に位置し、果樹、野菜、水稻を組み合わせた複合経営主体の農業生産を展開している。桃・りんご・あんぽ柿等の果樹生産が生産額の大部分を占めている。
- 認定農業者は80戸以上確保しているが、新たな担い手の確保が急務となっている。
- 新規就農者育成のため「くにみ農業ビジネス訓練所」を開設し、平成30年度から研修事業を実施、新規就農希望に対しては農業研修から就農までのサポートを行っている。

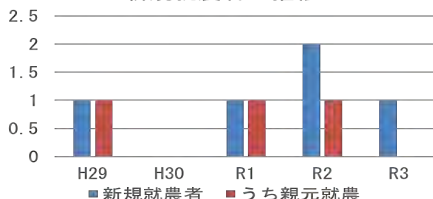
【位置図】



取組前

- 国見町の農業従事者
60歳以上・・・85%
59歳以下・・・15%と著しくアンバランス。
- 持続可能な農業を維持するために町内外からの新規就農の促進を行う必要性。
- 新規就農は、ほぼ親元就農
- 新規参入者の受け入れ態勢の確保が課題
- 親元就農者の確保+新規参入者受入態勢の整備が必要

新規就農者の推移



取組内容

- R4年度は、町外から新規就農者を獲得するため、就農フェアに2回参加。先輩農家の実地指導1名。
- R5年度は、就農フェアに4回参加。先輩農家の実地指導1名。
- R6年度は、就農フェアに7回参加。移住就農に向けた現地見学会を3回実施。

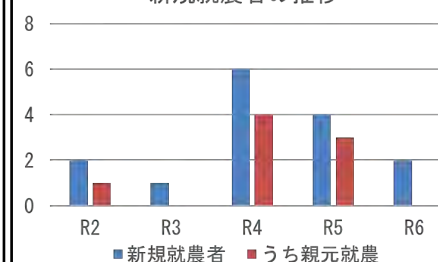


取組後(成果)

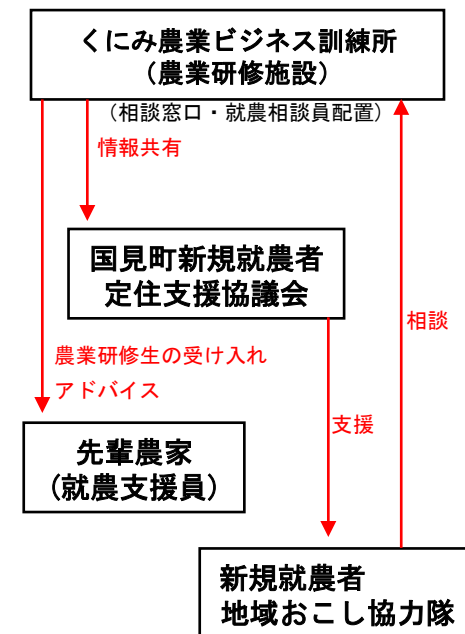
- 関係機関と連携して新規就農者等に対する支援ができたようになった。
- 町外者からの現地見学の問合せ、参加者が増えた。
- 就農者数も増加した。

新規就農者数
過去3年平均(R1～R3) 1.3人
→R4: 6人, R5: 4人, R6: 2人

新規就農者の推移



【サポート体制】



新規就農者や研修生の声

- 訓練所の長期研修中から、就農してからでも営農に関して、所長や指導員からの指導やアドバイス等をいただいているのはありがたい。
- 新規就農者同士の情報交換の場などがあり、横の繋がりも感じられる。

サポート体制構築事業 活用年度：令和4～6年度

【問合せ先】 福島県国見町（産業振興課）

TEL：024-585-2986

E-mail：Sangyo@town.Fukushima-kunimi.lg.jp

HP：https://www.town.kunimi.fukushima.jp/